

平成 23 年 7 月 28 日

各 位

会社名：古河電気工業株式会社
(コード：5801 東証・大証第 1 部)
代表者名：取締役社長 吉田 政雄
問い合わせ先：経営企画室 I R・広報ユニット長
鈴木 治
(T E L 03-3286-3050)

**当社連結子会社（F C M株式会社）の
業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ**

当社の連結子会社である F C M株式会社が、平成23年4月28日に公表した業績予想ならびに配当予想を別添資料のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

なお、本件による当社の連結業績への影響は軽微であります。

[添付]

F C M株式会社の開示資料

以 上

各位

上場会社名	FCM株式会社
代表者	代表取締役社長 市居 律雄
(コード番号)	5758)
問合せ先責任者	専務取締役 川森 晋治
(TEL)	06-6975-1324)

業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年4月28日に公表した業績予想ならびに配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,190	335	330	198	116.19
今回修正予想(B)	9,600	95	90	54	31.69
増減額(B-A)	410	△240	△240	△144	
増減率(%)	4.5	△71.6	△72.7	△72.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	7,817	192	233	151	88.78

平成24年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,600	710	700	420	246.47
今回修正予想(B)	18,000 ～19,000	300 ～400	300 ～400	180 ～240	105.63 ～140.84
増減額(B-A)	△600 ～400	△410 ～△310	△400 ～△300	△240 ～△180	
増減率(%)	△3.2 ～2.2	△57.7 ～△43.7	△57.1 ～△42.9	△57.1 ～△42.9	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	16,553	519	572	355	208.67

修正の理由

本年3月11日に発生した東日本大震災では、当社の工場・設備等に直接的な被害はなく、受注や生産の状況に大きな変化もなかったことから、震災の影響は軽微であると考えておりました。しかしながら、当事業年度に入りましては、電力事情の悪化や生産計画の延期、取引先の調達方針見直しなどに加え消費の低迷が続くなど、当初の予測から一転して大幅な減益は避けられない状況となりました。特に第3四半期以降につきましては、先行き不透明感が強く不確定要因も多いため正確な予想は困難な状況です。

電子機器・電子部品の部材の表面処理(加工)を主とする電子機能材事業では、震災後の消費低迷による在庫調整や生産計画の延期などにより第1四半期は売上・利益ともに計画に比べ大きく減少しました。第2四半期以降も、消費低迷の継続、サプライチェーン再構築における調達先の見直し、生産拠点の海外シフト進展や部品メーカーの外注工程の取り込み(内製化)などが予想され、本格的な業績の回復にはしばらく時間を要することが見込まれます。差別化・高付加価値化の製品開発を行っている研究開発については当初の計画通り継続しており、今期取得した深江北工場(大阪市)の有効活用も進めてまいります。

各種電線やケーブルなどの伸線加工を主とする電気機能線材事業では、電線需要の下げ止まりは見え始めたものの、未だ本格的な回復には至っておりません。被災地での復興の遅れだけでなく、他地域での工事進捗への影響も散見され、第2四半期以降の見通しは依然として不透明であります。営業強化に取り組んでいる異型線分野での拡販や、さらなる固定費・経費の削減など利益獲得へ向けた施策を実行してまいります。

以上のことから、平成23年4月28日に公表した業績予想の修正をいたします。通期の業績予想につきましては、正確な予想が困難であるためレンジでの予測とし、遅くとも第2四半期決算短信の発表と同時に通期での業績予想を発表することといたします。

* 当該業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。そのため、事業環境をはじめとする様々な要因の変化により、実際の業績はこれと異なる可能性があります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成23年4月28日発表)	—	10.00	—	64.00	74.00
今回修正予想	—	10.00	—	22.00 ~33.00	32.00 ~43.00
当期実績	—	—	—		
前期実績 (平成23年3月期)	—	10.00	—	53.00	63.00

修正の理由

当社は年間配当性向30%を指標として配当予想を発表しております。本日、平成24年3月期の業績予想を修正いたしました。そのため、中間配当は据え置きの10円とさせていただきますが、期末の配当予想を修正させていただきます。

以 上